

いろいろな土



黒土

黒ボク土ともいう。1万年以上かけて降り積もった火山灰土に、動植物遺体の有機物が分解した腐植物質が混ざり合った土。



畑土

河川敷の沖積土。保水性、保肥力にすぐれた基本用土だが、通気性が悪いので他の土と混ぜて使う。「荒木畑土」とも。



赤玉土 (大粒・中粒・小粒)

黒土の下にある、有機質を含まない黄褐色の火山灰土。粒の大きさごとに大・中・小にふるい分けられ売られている。プランター栽培でよく使われる。



パーミキュライト

「ヒル石」という石を焼成した多孔質の用土。通気性、保肥性、排水性に優れていてプランター用土に向く。

土壌改良材・肥料



ぼかし肥

発酵鶏糞に米ぬかなどを加えて発酵させた有機質肥料。追肥に使われる(つくり方は5ページ)。



堆肥

牛糞などの家畜糞や稲わら、おがくずなどの植物性有機物を発酵させた土壌改良材。写真は牛糞堆肥。



腐葉土

クヌギなど落葉広葉樹の枯葉を発酵、分解させた土壌改良材。土の状態を改良するために使う(つくり方は7ページ)。



石灰質資材

土壌の酸度を調整するために使用する。石灰石を砕いた「炭カル」、マグネシウムが含まれる「苦土石灰」などがある。写真は苦土石灰。